

チャレンジポート 2020 〈成果報告〉

主催／港区産業推進協議会

innovation
PORT 200
一般社団法人 港産業会・青年部会

幸福のスパイラルを生む“ものづくり”プロジェクト



チャレンジポートは、大阪港区の企業、商工団体、行政などによる公民連携を強化し、産業の振興を図り、まちの活性化を目指す事業。

参加企業や団体はもちろん、関わりのある多くの方々の強みを集結させものづくりをおこないます。

商品開発のプロセスで出会う経験は、次世代を担う人材の育成にも貢献。

新商品の誕生だけでなく、参加するみんなが幸せを得られるプロジェクトです。

これまでのチャレンジポート／（第一回）2018年度

- 1.参加企業の自社分析、取り組むべき社会課題の明確化
- 2.自社の理念や技術をもとに教育プログラムを考案
- 3.小学生と一緒にアイデアを考える体験型授業を実施
- 4.小学生のアイデアを活かした新商品の開発

遊べる!
もしもの時も
安全!



耐震シェルター「ひみつきち」

誰でも
簡単に
打てる!



誰でもカキーン!「ハンドバット」

これまでのチャレンジポート／(第二回)2019年度

- 1.参加企業の自社分析、取り組むべき社会課題の明確化
- 2.自社の理念や技術をもとに教育プログラムを考案
- 3.小学生と一緒にアイデアを考える体験型授業を実施
- 4.小学生のアイデアを活かした新商品の開発

参加企業ごとにチームに別れ「授業」、「商品開発」を実施

〈福祉チーム〉



高齢者や災害時の水が自由に使えない状況下を想定した「**簡易洗髪と水を吸収して髪を乾かす機能を備えたブラシ**」

〈ものづくりチーム〉



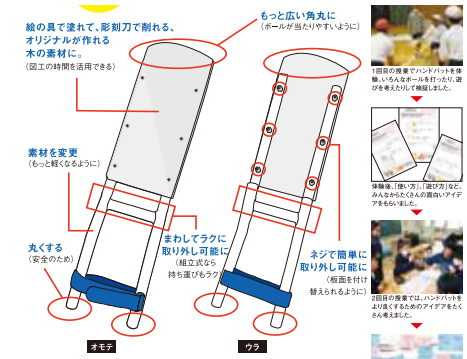
奥のモノが取り出しやすく、効率的に工具などの収納・整理ができる「**回転式の引き出し**」

〈飲食チーム〉



インバウンド向けにスタンプラリーを考案。日本ならではの土産として「**絵馬**」「**Tシャツ**」を製作

スポーツチーム



前年、小学生と開発した「**ハンドバット**」をさらに使いやすく、楽しみやすくするためのアイデアを取り入れ販売できるように改善

本年度のチャレンジポート／2020年度

**「開発する商品（製品）の販売・活用までをプロジェクトとする」ことを目指し、
これまでのチャレンジポートの進め方を改善。**

① テーマを設定

→開発する製品のテーマを事前に設定。（今年度は「防災」）
関連企業の参加を募り、専門的な知識や技術が集まりやすいように。

② 1チーム制へ

→これまでの複数チームでは、力が分散していました。
参加企業の全体で1チームとすることで開発スピードをアップしました。

③ 販売を視野に

→「1つのアイデアを確実に商品化すること」を目標に、プロジェクトを推進。
完成後に販売、活用へと進められるように。

チャレンジポート2020 〈プロジェクトの流れ〉

商品開発に重点を置いたスケジュールへ。

- (1) 今年度の「テーマ」決定後
- ▶
- (2) 参加企業を募集
- ▶
- (3) 参加企業でのミーティング
- ▶
- (4) 参加企業内でアイデア発表
- ▶
- (5) 港区の小学生と開発会議
- ▶
- (6) 商品コンセプトの作成
- ▶
- (7) 商品(製品)の開発
- ▶
- (8) 商品のPR・販売

主催 港区産業推進協議会

- ◆ 成光精密株式会社 / 産業用機械の設計・制作、精密部品加工
- ◆ 株式会社あんしん壱番 / 防災・防犯グッズ、防犯カメラ販売
- ◆ チエノマ株式会社 / 戸建て・マンションリノベーション、リフォーム
- ◆ 株式会社ハング / スポーツ機器開発
- ◆ 株式会社ど真ん中 / 広告デザイン制作

協力

- ◆ 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ライフパートナー
「住川」氏 / ご夫婦で東日本大震災の体験談を講演
- ◆ 株式会社山澤工房 / スーツケース・ハンドバッグ修理
- ◆ 株式会社西栗倉・森の学校 / 木材加工・販売
- ◆ 住まいる建装株式会社 / 内装工事



SEIKO SEIMITSU



Renovation IDEA TEAM
Chienoma

HANG

domannaka
 ,Inc.



チャレンジポート2020 〈実施スケジュール〉

2020年

「防災」をテーマに、どのような課題を解決する
 “ものづくり”ができるかなど各社でアイデアを考案。

9月10日(木)／事前ミーティング

9月25日(金)／第1回ミーティング

10月6日(火)／第2回ミーティング

10月20日(火)／第3回ミーティング

港区内の小学校に参加を呼びかけて実施

10月25日(火)／港キッズ大発明会議

小学生から生まれたアイデアを開発商品に
 取り入れて“商品の開発”を開始。

11月2日(月)／開発会議①

11月24日(火)／開発会議②

12月11日(金)／開発会議③

2021年

各社それぞれが担当箇所の製作を進行。
 随時LINEで進捗報告。Zoom会議を実施。

1月14日(木)／開発・進捗会議④

2月4日(木)／開発・進捗会議⑤

2月18日(木)／開発・進捗会議⑥

2月19日(金)／報告会

〈全体の流れ〉

開発製品の企画

小学生との会議

開発に向けての会議

製作・進捗ミーティング

製品の完成

企画ミーティング



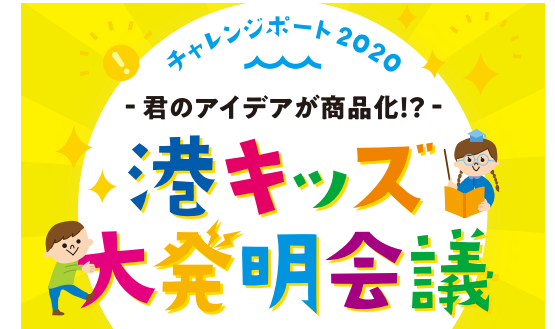
今年度のテーマ「防災」で、どんなものを作るかを検討。市場に出ている防災グッズの調査、防災グッズを扱う“あんしん壱番「宮原」氏”による防災関連用品のレクチャー、東日本大震災を経験された「住川」氏にヒアリングも実施。

「防災意識の低さ」、「避難所暮らしの対人ストレス」、「コロナ禍での避難の難しさ」などの問題解決が必要だという意見が一致。

コロナ禍の昨今、キャンプブームでもあります。キャンプを楽しむように「防災をもっと身近に」する手段として『防災カー』の製作を決定。

港キッズ大発明会議

〈概要〉



今年度は公募にて小学生を募り

港区内・近隣より【12名】が参加。

【第一部】として、防災・防犯グッズを取り扱う

あんしん壱番「宮原」氏の防災セミナー、

東日本大震災の被災者である「住川夫妻」に

震災の体験談を語っていただきました。

【第二部】は、第一部の学習を踏まえて

港区発! 防災カーについてのアイデア出し会議

をおこないました。グループごとに発表して

もらい、子どもならではの発想がたくさん誕生。



小学生の
防災カー
アイデア

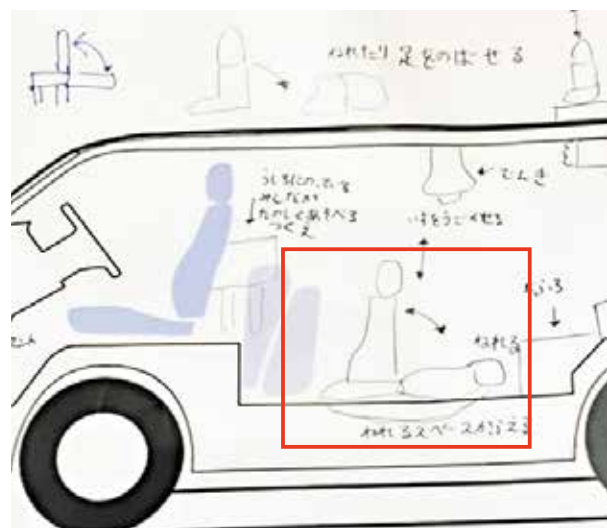
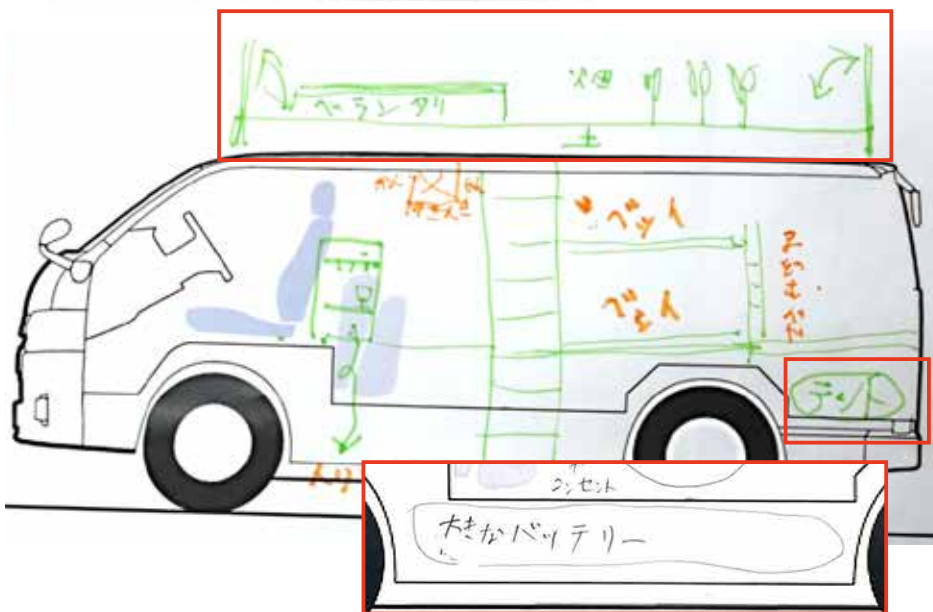
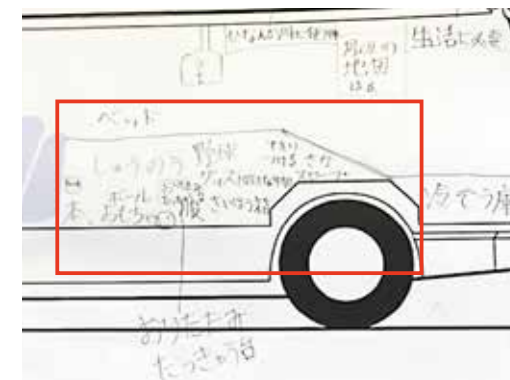
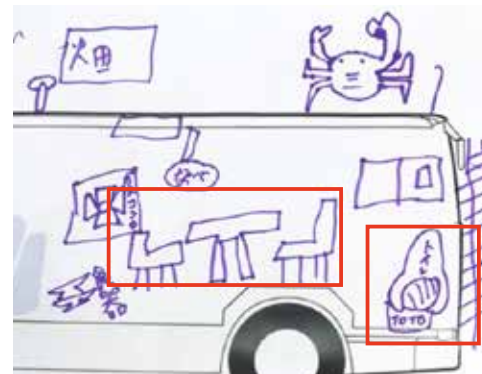
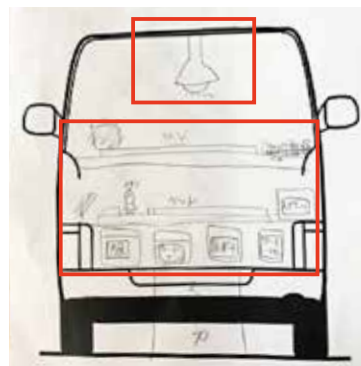
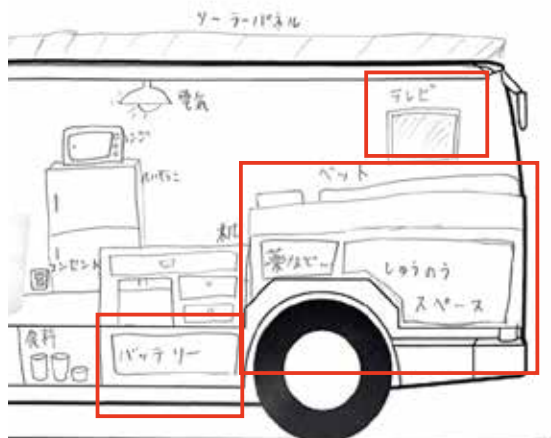
ブレスト時のアイデア

@港近隣センター

チャレンジポート2020 〈実施内容〉

港キッズ大発明会議

〈子どもたちのアイデア(一部抜粋)〉



防災用品の収納、地図、バッテリーなど、防災を意識しながらも車内を自分のお部屋のように楽しむアイデアがたくさんありました。



開発・進捗会議



子どもたちから出たアイデアをもとに、どう開発製品「防災カー」に活かしていくかなどを検討しながら、製品のコンセプトや、製作内容、設計などを会議。

実際に工事をしていくハイエースの実物にて採寸しながらの現地会議などを経て、各担当にて分業することに。

まいにち防災CAR プラス1room

「港キッズ大発明会議」のアイデアから生まれる大阪港区発の防災カーは、

災害時だけでなく“普段使いのできる防災カー”。

おうち以外に、車の中にプラスワンルーム設け、

趣味を楽しんだり、テレワークしたり、第二のリビングとして活用したり。

移動ができるので、キャンピングカーとしてはもちろん、

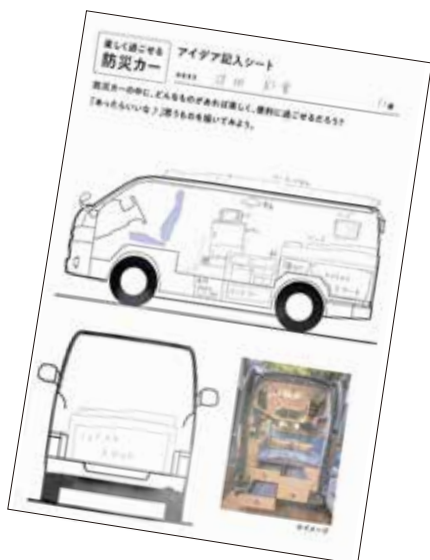
もしもの災害のときも、避難場所として安心・安全に活用できます。

子どもたちからのアイデアが盛り込まれた車内は、

防災時に必要な機能はもちろん、家族の楽しい時間や、

一人のくつろぎも生み出す、

皆さまにとって身近な快適空間になるはずです。

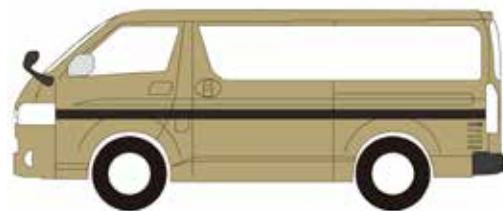
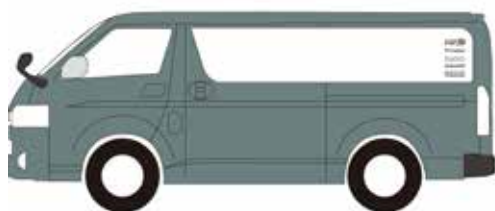


スポーツ機器開発
株式会社ハング
防災カー全体の仕様をプロデュース!

新たなスポーツの機器を開発する企画・プロデュース力を武器に、今回、防災カーとして利用しやすい「車種」の選定や仕入れ、サブバッテリーの搭載など、災害時に活かせる仕様を決定。



◆【購入時】ハイエース／ロングスーパーGL



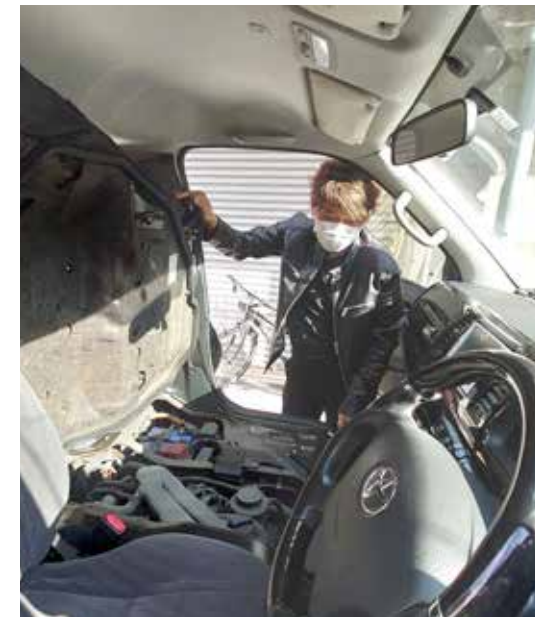
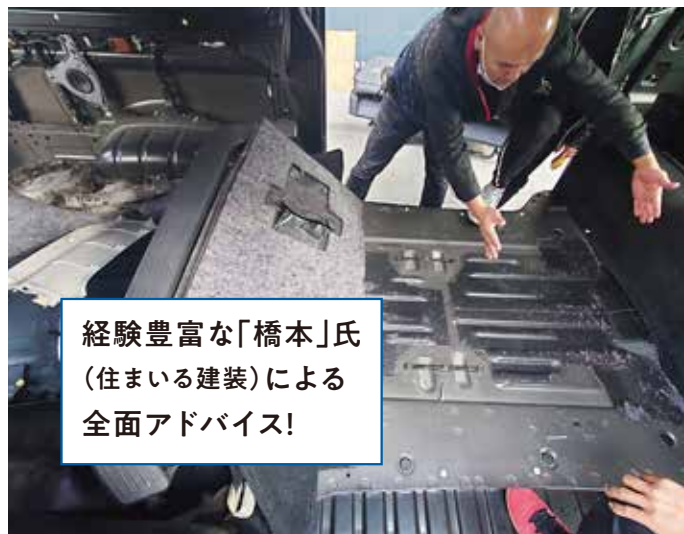
◆ カラーの検討



◆ 外装イメージ作成

◆ カuttingシート作成

◆ 解体・内部電気系統の確認



◆ 外装下地



サブバッテリーの仕様設定

戸建て・マンションリノベーション、リフォーム
チエノマ株式会社

**内装・外装のプランニング、
 デザイン、施工を実施。**

豊富なリノベーションスキルとアイデアで“愛着のわく家づくり”を実践するチエノマ。
 その経験と技術が、防災カーの内装・外装の細部に至るまで存分に活かされています。



◆ 中央部 / 空間イメージの作成



◆ 後部 / 空間・収納イメージの作成



◆ ボディ装飾
 イメージ作成



壁材、床材、小物などの
 デザイン、素材を検討。

◆内装工事



木材は、室内の円形に対応できる、丈夫でしなやかな内装材を。

◆塗装、ラインのデザイン、施工



西粟倉森の学校

◆引き出し収納の作成



innovation
PORT200
一般社団法人 港産業会・青年部会

〈実施内容〉

戸建て・マンションリノベーション、リフォーム
チエノマ株式会社

Renovation IDEA TEAM
Chienoma

完成

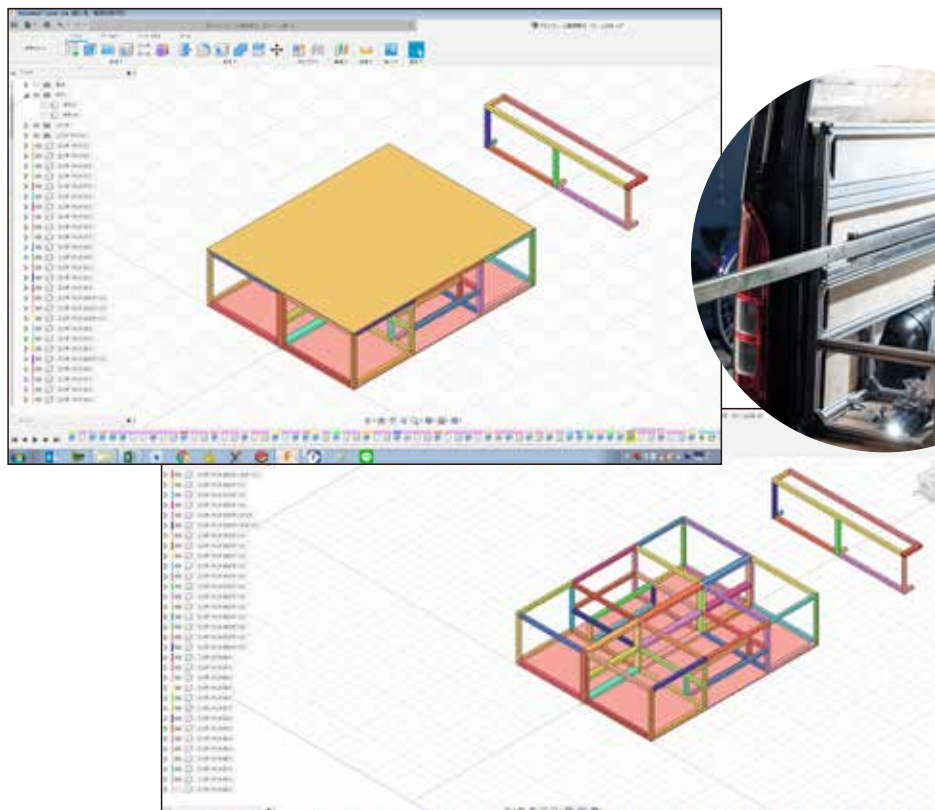


産業用機械の設計・制作、精密部品加工
成光精密株式会社

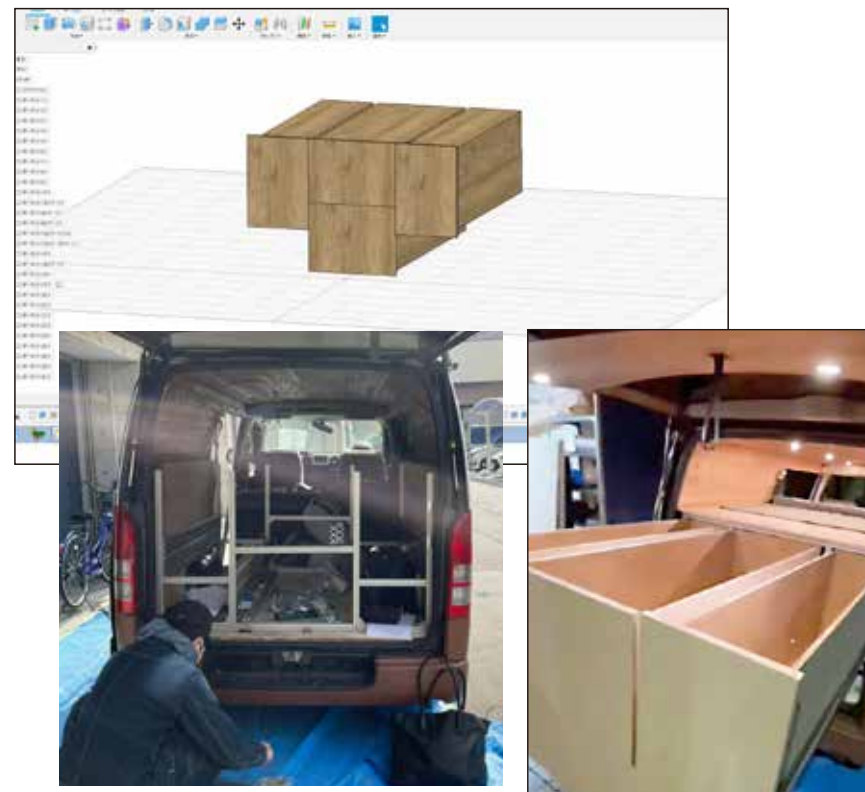
**車内の収納システムと後部座席レール、
 リクライニング部材を製作。**

産業用機械の設計・制作、精密部品加工の試作から量産まで一貫して対応できる
 その技術力を活かし、独自の収納システムと、座席の稼働範囲を変えるレールを製作しました。

◆ スライド収納を設置する「アルミフレーム」を設計



◆ 収納イメージ図面作成



◆フレームの作成・取り付け



◆スライドフレームの作成・取り付け



◆スライドレールの作成・取り付け



完成



耐荷重
150kg



◆スライドレールの加工で
2人が寝るスペースを確保

防災・防犯グッズ、防犯カメラ販売
株式会社あんしん番

**防災用品のセレクト、
 車内電気関連工事を実施。**

防災についての豊富な知識や取り扱い商品を活かし、防災カーに必要なモノや設備をセレクト。防犯カメラ工事などに用いる技術を用いて車の電気工事も実施。

◆ 車内にストックしておきたい防犯グッズ



◆ ガスコンロ



◆ 寝袋



◆ 災害用トイレ

◆ 社内の防災士と防災グッズをセレクト



◆ 防災カー／電気工事(配線)



◆ 蓄電のできるサブバッテリー



◆ 防災用品の設置



スーツケース・ハンドバッグ修理
株式会社 山澤工房

カバンの修理、縫製技術を用いて座席のシートカバーを製作。

40年以上に渡りスーツケース、バッグの修理を繰り返す中で培ってきた技術でオリジナル座席シートカバーを製作。内装イメージにフィットする生地、デザインが完成。

◆内装に合う生地を選択



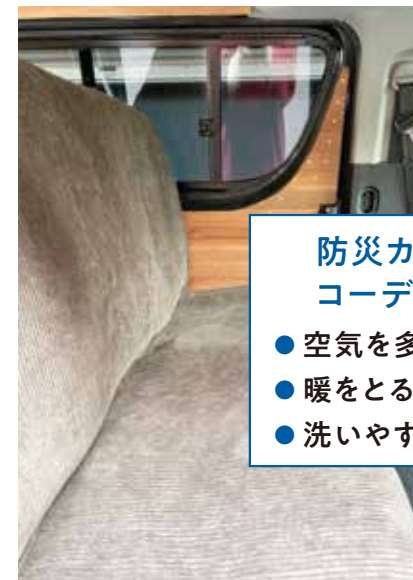
◆実物を採寸



◆シート各部のサイズに合わせる裁断



◆シート装着イメージ



防災カーに最適な
コーデュロイ生地

- 空気を多く含み心地よい
- 暖をとるのに最適
- 洗やすいカバータイプ

◆カバーを固定するマジックテープの縫い付け



◆シートにフィットするよう微調整



完成



普段使いもできて、もしもの時も安心・快適♪

大阪港区発! 「まいにち防災CAR(プラス1room)」

中央の空間は、普段はテレワークやくつろぎのスペースとして活用。



足元はA4ファイルが収まる棚に。上部の机も、折りたたみが可能。



後部の収納は、板をのせてテーブルとして利用可能。キャンプも楽しめます。

釣り竿や野球バットなどの長いものは、こちらに収納!



屋根には「ルーフキャリア」を搭載。荷物置きだけでなく多彩な用途で使用可能。



外装デザイン

大容量! 5つのスライド収納を設置。防災用品やテントもラクラク収まります。

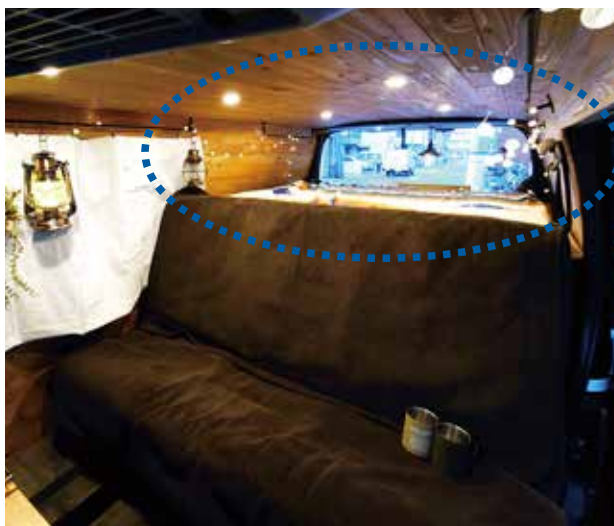


チャレンジポート2020 〈完成製品〉

収納の上はベッド空間として。
 子ども2人が横になれる広さを確保。



中央の空間は、災害時はスライドシートを倒して寝るスペースとしても利用可能。



エンジンをかけて
 いなくても、
 サブバッテリーで
 電気を灯せます。

外部電源から
 サブバッテリーへ
 蓄電が可能。



**製作した「まいにち防災CAR」は、
イベントに活用することや、各施工部分の受注など、
次につながる取り組みを進行中!**

① 3月中に販売をスタート!

今回、防災カーへとカスタマイズを実施した
「ハイエース／ロングスーパーGL」に特化。
今回の経験を活かしてスムーズに施工。

※今後、車種を拡大予定

チャレンジポート2020〈今後の予定②〉

② 港区で防災イベントを実施(予定)

ふつうに、たのしく、もしもの備え まいにち防災フェス

普段から楽しみながら無理なく「暮らしに防災」を取り入れる。
 防災のためだけじゃない防災を港区から広めていこう!

〈イベント概要〉

防災カーの販売・展示・体験会をはじめ、自前のキャンピングテントコーナーや、キャンピングカー・キッチンカーが集まる楽しいイベントに。キャンプ好きや車好き、家族でイベントを楽しみたい方などをターゲットとし、開発した防災カーのグッズ(パーツ)販売、防災グッズの体験会・販売会、キャンプ用品の販売をすることで、災害時にも役立つ商品を自然と購入する機会を増やします。また、被災者の体験談や、防災セミナー、消火器体験、非常食試食会などのコーナーも設け、防災への意識・知識を高めます。

